

各 位



平成 23 年 11 月 8 日

会社名 中越パルプ工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 原田 正文
(コード番号 3877 東証 第1部)
問合せ先 管理部長 松元 孝夫
(TEL. 0766-26-2404)

特別利益の発生、特別損失の発生及び平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異、 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は下記のとおり特別利益、特別損失を計上することとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、平成 23 年 5 月 11 日に公表いたしました平成 24 年 3 月期の業績予想について、発表内容を以下のとおり修正いたします。

記

1. 特別利益の発生及び内容

- 投資有価証券売却益（連結：149 百万円、個別：125 百万円）
 - (1) 売却資産の内容：当社及び連結子会社が保有する非上場有価証券 1 銘柄
 - (2) 投資有価証券売却益の発生日：平成 23 年 8 月 19 日
 - (3) 投資有価証券売却の理由：発行会社からの申し出により譲渡したものです。

2. 特別損失の発生及び内容

- 固定資産除却損（連結：565 百万円、個別：557 百万円）

需要に見合った生産体制の構築・効率的な操業体制構築のための抄紙機停止などによる除却損を計上したものであります。

3. 業績予想の修正について

(金額の単位:百万円)

○平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想との差異(平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期 純利益(円)
前回発表予想(A)	52,000	300	100	△300	△2.58
実績値(B)	50,954	1,365	1,283	484	4.16
増減額(B-A)	△1,046	1,065	1,183	784	—
増減率(%)	△2.0	355.0	—	—	—
(ご参考)前第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	50,611	1,138	877	17	0.15

○平成 24 年 3 月期通期連結業績予想の修正(平成 23 年4月1日～平成 24 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	102,000	1,400	1,000	200	1.72
今回修正予想(B)	100,000	2,800	2,500	1,100	9.44
増減額(B-A)	△2,000	1,400	1,500	900	—
増減率(%)	△2.0	100.0	150.0	450.0	—
(ご参考)前期実績 (平成 23 年 3 月期)	103,798	2,127	1,698	317	2.72

○平成 24 年 3 月期第2四半期累計期間個別業績予想との差異(平成 23 年4月1日～平成 23 年9月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	44,000	200	500	200	1.72
実績値(B)	44,245	966	1,391	771	6.63
増減額(B-A)	245	766	891	571	—
増減率(%)	0.6	383.1	178.2	285.8	—
(ご参考)前第2四半期実績 (平成 23 年 3 月期第2四半期)	43,563	646	1,154	550	4.73

○平成 24 年 3 月期通期個別業績予想の修正(平成 23 年4月1日～平成 24 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	89,000	900	1,000	400	3.43
今回修正予想(B)	85,500	2,000	2,250	1,200	10.30
増減額(B-A)	△3,500	1,100	1,250	800	—
増減率(%)	△3.9	122.2	125.0	200.0	—
(ご参考)前期実績 (平成 23 年 3 月期)	89,232	1,192	1,518	699	6.01

4. 修正の理由

平成 24 年3月期第2四半期累計期間の業績は、印刷情報用紙を中心に需要は低調なまま推移し、IT 化の進展が続くなか、円高による輸入紙の増加もあり、国内出荷は前年割れが続く厳しい状態となりました。このような状況下で当社グループは、全グループ従業員参加型のコスト削減対策【プラス30計画】の必達に向けての取組みに注力してまいりました。加えて、東日本大震災の影響が予想を下回ったことなどにより営業利益、経常利益、四半期純利益が前回公表した予想を大幅に上回りました。また、通期の業績予想につきましても前回公表した予想を上回る見通しとなりましたので修正いたします。

(注) 上記に記載した予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、今後様々な要因の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上